

●メクルト

→ いろいろの経営する麻薬ルート

●某女性

→ 不明だがどうせブス、

「げのと「「「乱両
おひ人か「「氏
前くにに「氏
がにに「文「酒
酒騒文わがな
乱ぎ向わが
だまきをめ
だわ言散んで
だりわし、新
。れ、人賞
。つよ下の
。い、がの
。は、部
。め屋だか

通乱出沒
十月某日、追波莊で染沢、岬
乱氏が酒を飲み、電光石火、酒
乱ヤワルトリ、位バンザイ
乱となり、散ら、下賞の部屋

高校時代の女性が
わらべ氏と岬氏が高校時代に
見ぞめた某女性が、今、小田急
相模原にいたりという情報か流
2人の間に何やら怪しい動きが
みられれます。

あの沼田氏に妻が
十四日、追波莊に沼田氏あて
に女姓からの速達が、迷ひ引
だし、もうおとす。氏は、だ引
越しまし、おとす。郵便屋さん
も速達ということであ、せ、い
たそうと、同氏の弁解により
「二十日過ぎにしてくれと言
「まん、だげ、当新聞のつか
「ます。よ、り、あ、の、内、縁、だ
「報に、よ、り、あ、あ、の、内、縁、だ
「が、彼、を、思、ひ、ま、あ、あ、の、内、縁、だ
「強、く、た、の、思、ひ、ま、あ、あ、の、内、縁、だ
「細、く、た、の、思、ひ、ま、あ、あ、の、内、縁、だ
「ん、は、た、の、思、ひ、ま、あ、あ、の、内、縁、だ

「「「
わえ、あ
れ、っ、な
。太、シ、な
、ヨ、に
ツ、ク、を
受、け、た
。さ、う

●スズキ医師

→ 三鬼亮輔のこと

●伊藤氏

→ 黒色こしょうのこと

おんなとモモノ病
SFの異常を訴えて以来、伊藤氏が
スズキ病と診断された。すぐに隔離
された。モモノ病という病は、精
的、な、病、気、で、その、症、状、は、電
的、な、常、に、不安、を、感、じ、夜、一、人
の、事、々、に、出、て、生、活、に、種
々、の、問、題、が、出、て、研、究、生、田、支、部、は

●酒乱

→ 岬、染沢両氏

五十四年十一月九日 15号より

「「「
同、い、に、は、罪、の、前、さ、酒、だ、と、酒、
つ、の、は、罪、の、前、さ、酒、だ、と、酒、
嵐、の、は、罪、の、前、さ、酒、だ、と、酒、
と、の、は、罪、の、前、さ、酒、だ、と、酒、

●沼田氏

→ 千原 俊 のこと

●某女性

→ ほら、例のあのこと

雨の物語
今年の夏休み、小原氏が紙が
帰り、を、折、り、小、原、氏、の、手、紙、が
生、の、某、女、性、の、お、手、紙、が
ま、い、こ、み、お、い、く、お、電、話、を
書、い、て、み、た、ら、お、電、話、を
は、狂、喜、舞、た、ら、お、電、話、を
し、お、舞、た、ら、お、電、話、を
の、海、へ、イルカ、の、雨、の、物、語、

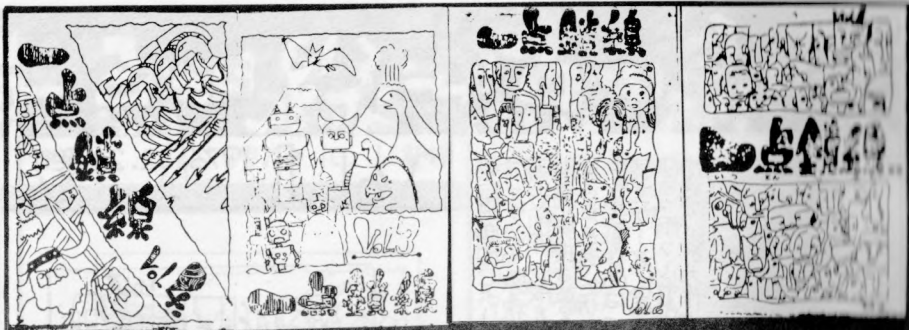
●古郡氏

→ 古都 環 のこと

五十三年十一月十一日 4号より

古郡氏にびんぐし
某、秘、密、に、現、在、に、お、い、る、か、今、深、い、ナ、リ、に
某、秘、密、に、現、在、に、お、い、る、か、今、深、い、ナ、リ、に
某、秘、密、に、現、在、に、お、い、る、か、今、深、い、ナ、リ、に
某、秘、密、に、現、在、に、お、い、る、か、今、深、い、ナ、リ、に

五十三年五月二十九日 3号より



一点鎖線のあゆみ



マガジン
ラック
1976 ~ 1979



大袈裟に申すなら、卒業生諸兄の数多い業績の中で、私の1人1人、ルールを作ったという類を除いて最大のものは、この『一点鎖線』であります。彼らの手によって、生み出され育まれてきた『一点鎖線』……今ここで、その軌跡を辿り、卒業生の足跡を確認する事は、SFや生田支部の活動というものについての再考を促して、ひいては現状への反省を迫る、という点において、大いに意味のある事だと思っております。

＊なお、卒業生の活動の輪郭を、より鮮明にする意味で「Hello by」、「GORI」、「夢幻鬼童」、そして「チロノ777」の各誌についても、簡単にまとめてみました。

● 本田氏
↳ さとみ裕則のこ

ムラムラ病まで
モラム病専門医、ススキウ
リマツクの院長、ススキウ
りませつと、モン病的恐怖は
一段落したが、これから恐しい

これ集団部員全部、モンモ
の結団多数のモンモ病患者
が発見され、急性モンモ
病と診断された。急性モン
水目下入院中。慢性モンモ
の診断で、慢性の場合同
伝染性も弱いが、一般社会
活にもそれほど問題はない
になりまして、染沢氏の場合
早期発見であつたために、病
も軽いといふことである。

以上
発行人
細川
追波
軍団

このムラムラ病は、急性の病で、電気が集まる場所には、特に注意が必要である。急性は早急にと告げ、慢性は早く見つけ、早く治療を受けるべきである。慢性は早く見つけ、早く治療を受けるべきである。慢性は早く見つけ、早く治療を受けるべきである。慢性は早く見つけ、早く治療を受けるべきである。

一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線一点鎖線

Vol. 4 1978. 10. 1 発行



▲ vol.4 表紙 (by 押絵さる)

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

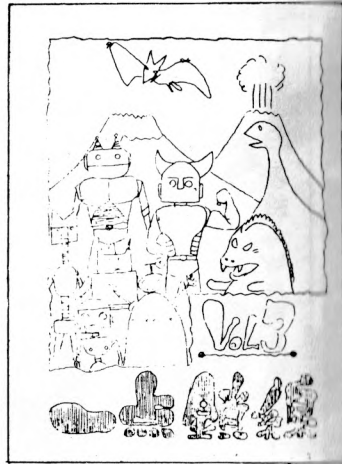
この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

(この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、)

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、



▲ vol.3 表紙 (by 押絵さる)

Vol. 3 1977. 12. 31. 発行

Vol. 1 1976. 12. 24 発行



▲ Vol.1 表紙 (by 押絵さる)

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

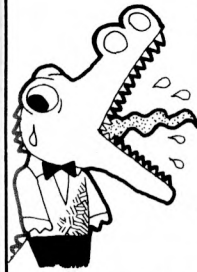
この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、

この年 押絵さる氏が「オムニバス」の「一点鎖線」の連載を再開し、



▲ Vol.2 表紙 (by 押絵さる)

Vol. 2 1977. 7. 31. 発行



陽羨湯もこの時期である。何と云っても行けば面子。おそろうと云う素暗らし。さ、酒一本ぶら下げて。つまみは冷蔵庫をあてに。すると、うっ、うっ、昔は。よわった、うっ、うっ、あ。ひたして、いる場合ではあ。りません。染又さん、お宅。中二期、染又さん、お宅。通学するようになり、千。原は、竹下さん、お宅。山。い、竹下さん、お宅。と。一室にひきこもるよ。は。に。なる、マッさん、お宅。次々と、供を雇い、猫屋敷。と、呼ばれる。猫屋敷。業し、代り、竹下さん、お宅。力、四、では、竹下さん、お宅。っ、れ、込、り、に、左、手、が。叶と紅茶の、左、手、が。茶、お、い、な、み、と、呼、ば、れ、る。、三、泊、四、日、追、追、ア、と、な。日、だ、け、家、に、帰、る、と、な。



かり切り
この言葉を何気なく口にすることが、一年生が震え上がる。ついでに、叶さんがすすべて悪。大系を大幅に狂わせ、てしま

会コン
したい。

細胞具新庫
竹下三向さん、お宅。たり担当、ぼら、す、ぞ、行

何がやらたらと人か。入り乱れる。そ、い、や、ら、い、の、阿、留。追、い、か、入、居、の、巢。梨、氏、か、入、居、の、巢。と、呼、ば、れ、る、よ、う、な、ら、ず。生、ま、れ、し、よ、う、の、格、言、が。



岡本研ゴム
新井さんが就職したと聞、い、て、納、得、な、し、て、し、ま、た。自、分、が、取、す、な、し、い、ま、す。河、野、さ、き、と、あ、り、ま、す、よ、う、と、な。

少 漠のキリネ
元生田支部長、SF研と共に歩み、最後までく。ラ、フ、を、護、り、通、した、の、人、の、作、品、に、は、鋭、い、ユ、ー、モ。ア、と、SF、に、対、す、る、深、い、愛。情、が、あ、り、読、む、者、を、魅、了。する

グレイト
生田の生田の花、生田のアド



オフセト
ひえええ、後。光、が、射、し、と、る。三、年、向、に。あ、れ、ん、じ、は、ず、す。わ、た、り、に。SF、研、が、生、田、祭、に、出、た、の、別、称。喫、茶、店、今、は、部、室、の、別、称。怪、設、断、合、宿、の、時、竹、下、さ。女、の、子、相、手、に、フ、イ、ー、バ、し、。以、来、随、所、で、突、然、発、生、す。



彼女
下子さん、紀子さん、幹子さん、じゅんじゅん。唐、沢、さ、ん、お、宅。性、格、と、顔、だ、ち、の、あ、と、も。あ、り、ま、す、よ、う、と、な。

メ切り
え？今何な言った。物、が、走、っ、た、よ、う、な、。S、F、研、に、は、古、く、あ、る、歴、代、支、部、長、は、二。れ、を、迷、信、だ、と、笑、い、と、は、し、。た、か、結、果、は、惨、め、な、敗、北、に、終、わ、っ、て、い、る、。そ、の、怖、しい、言、い、伝、と、は、。支、部、長、に、な、る、と、髪、が、薄、くなる。、。

少年探偵団
新宿にある劇団、高見さん。及、び、竹、下、さ、ん、が、登、見、以。来、S、F、研、に、広、まる、染、沢、さん、左、手、氏、な、と、紫、苑、ん、氏、干、原、氏、M、紫、苑、氏、Usami、氏、な、ど、多、く、の。部、員、の、向、に、流、行、ウ、ケ、な。を、す、れ、ば、人、向、ウ、ケ、な。必、ず、出、て、来、る。

「うん、うん、まい!!君のくれたコーヒ
は最高だよ。本当にこのコーヒを飲
まなければ、一日がはじまらないと言
った感じだ。」

「でも最近はお金が手にはいりにくくて
たしかに九六ニ九層でつくっているのも
おいしいというけど、やはり地球産を
もシヤマイカ州の高地でとれる豆がピカ
ーだよ。」

「あと半年のガマンだよ。あと半年す
れば地球に住むことが出来るんだ。」
「でも私たちがいいわよ。大学を卒業
すれば地球での居住権がもらえるから。
つまり私たちは選ばれた人材なんだから。
でも選ばれた人たちはどうなるの
よ。あんまり小々な地球にでも、今の技
術があれば九五億の全人類はいっしょに
住めるはずよ。それに、そういう人たち
は六五才までしか生きられないのよ。つ
まり六五才になると殺されてしまうのよ。
これは絶対おかしいわ。ほんのひとにき
りの人たちのエゴだわ。それに……」
「あ、とやばい!!オレゼミがあ、たん
だ行かなくっちゃ。」

「あ、あなたはそのうなんだから……」
「あ、あなたかシャロイナ・ナツクさんで
ま……」

「あ、あなたかシャロイナ・ナツクさんで
ま……」

「あ、あなたかシャロイナ・ナツクさんで
ま……」

「あ、あなたに革新をのぞむなんて無理なこと
ね。」

「あ、あなたに革新をのぞむなんて無理なこと
ね。」

「あ、あなたに革新をのぞむなんて無理なこと
ね。」

「あ、あなたに革新をのぞむなんて無理なこと
ね。」

「あ、あなたに革新をのぞむなんて無理なこと
ね。」